

令和 5 年度 教育及び保育の内容に関する全体的な計画

藤井寺市立道明寺こども園

保育理念 一人一人の生きる力を豊かに育てる			保育方針 豊かな体験や様々な人との関わりの中で、子どもたちが自分らしく育っていくような保育を展開する			保育時間 1号認定・新2号認定 1号認定・新2号認定預かり保育 2・3号認定 2・3号認定延長保育 8時45分～15時00分 15時00分～18時00分 8時45分～16時45分 7時00分～8時45分 16時45分～19時00分			子ども園における社会的責任														
									人権尊重		説明責任		情報保護		苦情処理・解決								
									・基本的人権を尊重する。 ・児童の最善の利益を考慮する。 ・児童・保護者を個人として尊重する。		・保護者や地域社会と連携を図り、分かりやすく応答的に保育内容を説明する。		・入園する子どもたちの個人情報 を適切に取り扱う。		・保護者、地域の苦情に適切な対処を行う。								
保育目標			心身ともに健康な子ども			生き生きと意欲的に遊べる子ども			人と関わる力のある子ども			豊かな感性と表現力をもった子ども											
重点的に取り組む保育の柱																							
健康を守る保育 ・自分の身体を大切にし、健康で安全な生活に必要な習慣や態度を育てる。 ・伸び伸びと行動する機会を大切にし、充実感や満足感を得られるようにする。			食育を推進する保育 ・給食をはじめ、手伝いやクッキング、栽培等、豊かな食の体験を積み重ね、食を営む力の基礎を育む。			人権を大切にする保育 ・一人一人が大切な存在であると感じ、違いを認め合えるようにする。 ・命の大切さについて知ることのできる保育を展開する。			共に育ち合う（インクルーシブ）保育 ・生活する中で、互いの違いに理解を深め、尊重し合い共に育ち合える仲間関係を育む。			異年齢との関わりを大切にする保育 ・日々の生活や、異年齢交流などを通して、互いに親しみや思いやりの気持ちを育む。			小学校への円滑な接続 ・交流や体験入学など園児と児童の関わりを通じて、小学校生活に安心感と期待感をもてるようにする。 ・小学校教諭と子どもの発達や育ちを共有する機会をつくり、子どもの学びの連続性を保障する。			保護者と共にすすめる保育 ・子育てに関する情報交換の場や交流の機会を設けるとともに、相談・支援を行うことで、子どもの理解につなげ、保護者と共に子どもの育ちを支援する。			地域との関わりを大切にする保育 ・園外での活動や地域の方との交流を通して、子どもたちが自分の住む地域に親しみをもち、豊かな生活体験を得られるようにする。		
年齢別の保育目標													幼児教育において育成すべき資質・能力										
0歳児			1歳児			2歳児			3歳児			4歳児				5歳児							
・心地よい生活の中で、よく食べ（飲み）、よく眠り、よく遊ぶ。			・探索活動を通して聞く、見る、触れるなどの経験をし、興味や好奇心をもつ。			・自己を十分に表しながら、何でも自分でやってみようとする。			・自分でできる喜びを味わい、友達と関わることを楽しむ。			・意欲的に遊びや生活に取り組む中で、考えて行動する。			・友達と相談、協力しながら遊びや生活を展開し、充実感や達成感を味わう。								
ねらい及び内容													知識及び技能の基礎										
保育	養護	生命の維持	・健康や安全に配慮し、一人一人の生活リズムを大切にし生理的欲求を十分に満たしていく。			・食欲や排泄、睡眠などの生理的欲求を把握し、応答的な関わりを通じて自立を促す。			・自我の育ちや基本的生活習慣を身に付ける援助をする。			・基本的生活習慣の自立に向けて、個々に応じた援助をする。			・健康で安全な生活習慣に関心をもち、自ら意識し行動できるようにする。			・健康で安全な生活習慣を身に付け、自ら進んで行動できるようにする。			思考力・判断力・表現力等の基礎		
		情緒の安定	・保育教諭との応答的な関わりの中で安心して過ごせるように愛着関係を育んでいく。			・応答的な関わりの中で安心して自分の気持ちを表すことができるようにする。			・様々な自己主張を受け止め、一人一人の思いに共感し、自我の育ちを援助する。 ・自分でできる喜びを感じられるようにする。			・子どもの思いや考えを受け止め、自我の充実を図る。			・子どもが主体的に活動する中で、自己肯定感や他者を受容する気持ちを育てる。			・心身の調和と安定により、自信をもって行動できるようにする。 ・友達と尊重し合う経験を通して、自己肯定感が高まるようにする。					
	教育	健全な心身の発達（身体的発達）	身近な人と気持ちの通じ合う（社会的発達）	身近なものとの関わり（精神的発達）	健康		・歩行が確立し、保育教諭と一緒に身体（全身・手指）を使った遊びを楽しむ。 ・簡単な身の回りのことを、大人の助けによって自分でしようとする。		・保育教諭や友達と一緒に身体（全身・手指）を使った遊びを繰り返し楽しむ。 ・保育教諭の見守りの中、簡単な身の回りのことを自分でやってみようとする。		・自分の身体を十分に動かすことを楽しむ。 ・生活に必要な習慣を身に付ける。 ・自分の健康や安全に関心をもち、		・全身を使って遊ぶ中で、協応動作を可能にしていく。 ・健康、安全に必要な習慣や態度を身に付ける。		・全身を使い、いろいろな運動遊びに目標をもって、意欲的に取り組む。 ・基本的生活習慣を身に付け、自ら進んで行動する。		幼児期の終わりにまでに育ってほしい10の姿						
							人間関係		・安心できる大人との関係を土台に、友達に関心をもち、関わろうとする。		・身近にいる保育教諭や友達のしている遊びを真似て同じ遊びをしようとする。		・保育教諭の仲立ちのもと、友達と一緒に遊ぶようにする。 ・自己主張しながらも、保育教諭の仲立ちにより友達の気持ちに気付く。		・友達と一緒に活動することを楽しみ充実感を味わう。 ・友達と遊ぶ中で関係が広がり、仲間意識が深まる。 ・社会生活に必要なルールの大切さに気付き、守ろうとする。 ・友達の思いに気付き、自分をコントロールする。		・友達と同じ目標をもち協力して活動し、達成感・充実感を味わう。 ・地域の方等、自分の生活に関わりがある人たちに親しみをもつ。 ・社会生活に必要な習慣や態度を身に付け、生活の中で生かしていく。		健康な心と体				
					環境				・身近な環境に興味や関心をもち、探索活動を楽しむ。 ・目的をもって道具を扱う。		・身近な環境に親しみ触れ合う中で、様々なものに興味関心をもち、探索・模倣して遊ぶ。 ・見る・聞く・触る等の経験を通して感覚の働きを豊かにする。		・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、それらを使って遊ぼうとしたりする。		・身近な環境や自然に興味関心をもち、積極的に遊びや生活に取り入れようとする。 ・遊びや生活の中で色、数、形などに興味関心をもち、		・様々な物事や自然に主体的に関わり、試行錯誤しながら遊びに取り入れていく。 ・文字・数量・図形などに関心をもち、生活や遊びに取り入れる。		道徳性・規範意識の芽生え				
							言葉		・保育教諭との応答的な関わりにより、言葉のやりとりを楽しむ。 ・表情や言葉、体の動きによって気持ちを表そうとする。		・自分の思いや経験を話そうとしたり、遊びの中で簡単な言葉でのやりとりをしたりする。 ・絵本や話などを見たり聞いたりして、その内容を楽しむ。		・自分の経験したことや思っていることを保育教諭や友達に話し、言葉で伝える楽しさを味わう。 ・絵本や話などを見たり聞いたりしてイメージを広げる。		・経験したことや考えたことを保育教諭や友達と伝え合い、会話を楽しむ。 ・絵本や物語などを見たり聞いたりしてイメージを広げ、保育教諭や友達と楽しむ。		・互いに思いや考えを受け止め合い、友達と心を通わせ合いながら、遊びや生活をつくりだしていく。 ・絵本・物語を通してイメージする楽しさを味わい、語彙を豊かにする。		社会生活との関わり				
					表現				・自分の要求や思いを言葉や態度で表す。 ・みたくてつもりの世界で楽しむ。 ・変化する素材に働きかけ繰り返し楽しむ。		・いろいろな遊びや生活経験を通して言葉が豊かになり、簡単な会話を楽しんだり、自分の要求を言葉で伝えたりする。 ・大人を仲立ちとして、友達とみたくてつもり遊びや簡単なごっこ遊びを楽しむ。		・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ・自分でイメージを広げたり見立てたりしてごっこ遊びや表現遊びを楽しむ。		・感じたこと・考えたことを、いろいろな方法で、伸び伸びと表現する。 ・友達とイメージを共有し、ごっこ遊びや表現遊びを楽しむ。		・感じたこと、考えたこと、イメージしたことを様々な素材を用いて表現する楽しさを味わう。 ・一人一人の表現を重ねながら友達と一緒に表現遊びを作り上げ達成感を味わう。		自然との関わり・生命尊重				
							食育		・安定した人間関係の中で食事をする。 ・いろいろな食べ物を見たり触れたり、味わったりすることを通して食べたいという意欲をもつ。		・自分で食べたいという意欲をもつ。 ・食具を使って自分で食べる。		・いろいろな食べ物に興味をもち、意欲的に食べる。 ・保育教諭を仲立ちとしながら友達と一緒に楽しく食べる。		・保育教諭や友達と一緒に食事することを喜び、意欲的に食べる。 ・いろいろな食材を見たり、触れたりすることで食べることに興味をもつ。		・食事のマナーを守り、楽しく食べる。 ・いろいろな食材や栄養に興味をもち、何でも食べてみようとする。		・食事における基本的習慣やマナーを身に付ける。 ・食事と体の関係に興味や関心をもち、栄養バランスの大切さを知る。		言葉による伝え合い 豊かな感性と表現		
環境・衛生・安全管理				健康支援				災害への備え				子育て支援				研修計画							
○園舎の温度、湿度、換気など、適切な環境の保持 ○感染症予防対策の実施 ○子ども及び職員の清潔保持 ○施設内外の設備、用具等の清掃や消毒、安全点検				○登園時や保育中の健康観察、異常が認められた時の適切な対応 ○子どもの健康状態や発育及び発達状況の把握 ○虐待の予防・早期発見等の対策、関係機関との連携				○毎月の避難訓練の実施、消防署立ち合い訓練（火災・地震・不審者対応） ○緊急メール一斉配信 ○被災時における対応と備蓄の確認				○地域の子育てセンターとしての役割（子育て相談、定期的な園庭開放、にこにこランド、赤ちゃん会の実施）				○日々の保育の計画、実施、振り返りのサイクル確立 ○園内研修の計画、実施 ○園外研修への参加							